



心は花の如く。

尚綱中学・高校ギター・マンドリン部

阿蘇に響く マンドリンの音は 絶えることなく

昭和60年5月12日は、昭和天皇が阿蘇野草園に行幸された際、ギター・マンドリン部の演奏をご覧いただいた記念すべき一日です。全国植樹祭にご臨席される昭和天皇の御視察先などの準備を担当された元熊本県人事委員会事務局長の武原信雄さんは、天皇にお楽しみいただけ

る計画を考え、植物学者でもある昭和天皇に阿蘇野草園をご覧いただけるよう熊本県を説得。その場でギター・マンドリン部による演奏をご覧いただきたいとも考えていました。

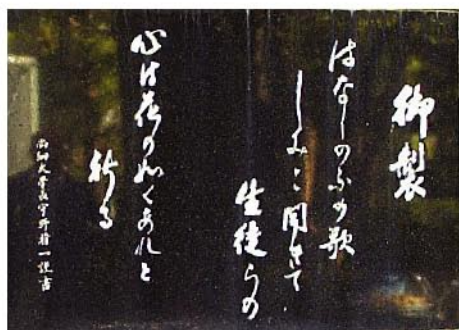
現在も続いている「はなしのぶコンサート」は、阿蘇の野草園で、はなしのぶの美しさに魅せられた人々を中心となって始められたもの。ギター・マンドリン部も昭和56年から参加していたのです。武原さんは、コンサートは阿蘇の野草や小鳥たちに捧げる音楽会であり、主役は野の花や小鳥たちであること、演奏を行う生徒たちは新緑に合う清純な装いで素晴らしいことなどを宮内庁の現地調査団に伝えました。そして、尚綱高校の快諾により、正式に決定したのです。

やわらかな陽射しのもとで、マンドリンの音色を一途にお聴きになられた昭和天皇は大変お喜びだったと伝わり、尚綱高校は、「御製」を賜る名誉に預かりま



施設課長
阿蘇村南
休藤 秀徳さん

「御製」とは
天皇のおつくりになった
詩歌や文章のこと
※国体等にご臨席された折のお気持ちを和歌に託して担当県などには御下賜になりますが、特定の学校に御下賜になるのは希有なことです。



した。
昭和天皇のお言葉の中に込められたお気持ちを胸に、これからもギター・マンドリン部の活動は続いていきます。

第2回の「花しのぶコンサート」から携わってきた休藤村南阿蘇の後藤秀徳さん。会場として生徒たちを迎え入れる方から見た「コンサートについて伺いました。」
「まずは、『野の花に音楽を捧げる』という趣旨に感銘しました。また、ここを訪れる生徒たちの礼儀正しさ、純粋さに触れるにつれ、彼女たちだからこそ野の花にふさわしい音楽が奏でられるのだと思っています。自然保護に対する取り組みとしても大きな意義をもっており、毎年各メディアからの問い合わせも多いのです。根強いファンもいらっしゃる。先輩方が築き上げた伝統を受け継いでいくことは大変だと思えますが、音楽に対するひとむきな気持ちをいつまでも持ち続けて欲しいですね。」

礎 いしづえ | vol.03 Contents

◎巻頭特集 心は花の如く。 〔尚綱中学・高校ギター・マンドリン部〕	巻頭
尚綱公開講座 人間探究	04
【尚綱学園史】尚綱学園 校地小史	06
エッセイ・花との会話	07
キャンパス イベント レポート	08
インフォメーション	11
2005年度 募集要項	12
礎 連載コラム「心の話 二題」	巻末